



平成 28 年 10 月 31 日

各 位

会社名 虹 技 株 式 会 社
 代表者名 代表取締役社長 堀田 一之
 (コード 5603 東証第 1 部)
 問合せ先責任者 取締役経理部長 谷岡 宗
 (TEL 079-236-3221)

平成 2 9 年 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 に お け る 業 績 予 想 と 実 績 値 と の 差 異
 および通期業績予想の修正に関するお知らせ

平成 2 8 年 7 月 2 9 日 に 公 表 い た し ま し た 平 成 2 9 年 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 (平 成 2 8 年 4 月 1 日 ~ 平 成 2 8 年 9 月 3 0 日) の 連 結 業 績 予 想 お よ び 平 成 2 8 年 5 月 9 日 に 公 表 い た し ま し た 平 成 2 9 年 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 の 個 別 業 績 予 想 と 本 日 公 表 の 実 績 値 に 差 異 が 生 じ ま し た の で、下 記 の 通 り お 知 ら せ い た し ま す。

また、最近の業績動向を踏まえ、平成 2 9 年 3 月 期 (平 成 2 8 年 4 月 1 日 ~ 平 成 2 9 年 3 月 3 1 日) の 通 期 業 績 予 想 を 下 記 の と お り 修 正 す る こ と と い た し ま し た の で、併 せ て お 知 ら せ い た し ま す。

記

1. 平成 29 年 3 月 期 第 2 四 半 期 累 計 期 間 業 績 予 想 と 実 績 値 と の 差 異
 (平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 28 年 9 月 30 日)

(1) 連結業績予想と実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 2 8 年 7 月 2 9 日)	百万円 9,100	百万円 780	百万円 770	百万円 320	円 銭 9.69
実 績 値 (B)	9,170	865	926	475	14.40
増 減 額 (B-A)	70	85	156	155	—
増 減 率 (%)	0.8	11.0	20.3	48.6	—
(ご参考) 前期第 2 四半期累計期間実績 (平成 2 8 年 3 月 期 第 2 四 半 期)	9,260	668	570	203	6.17

(2) 個別業績予想と実績値との差異

	売上高	経常利益	四半期純利益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 2 8 年 5 月 9 日)	百万円 6,800	百万円 0	百万円 0	円 銭 0.00
実 績 値 (B)	6,959	303	222	6.75
増 減 額 (B-A)	159	303	222	—
増 減 率 (%)	2.3	—	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期累計期間実績 (平成 2 8 年 3 月 期 第 2 四 半 期)	7,089	231	153	4.65

2. 平成29年3月期 通期業績予想の修正
(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成28年7月29日)	百万円 19,400	百万円 1,360	百万円 1,340	百万円 570	円銭 17.26
今回修正予想(B)	19,800	1,700	1,700	510	15.44
増減額(B-A)	400	340	360	△60	—
増減率(%)	2.1	25.0	26.9	△10.5	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	19,316	1,467	1,216	540	16.36

(2) 個別業績予想の修正

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成28年5月9日)	百万円 15,000	百万円 510	百万円 370	円銭 11.20
今回修正予想(B)	15,500	920	370	11.20
増減額(B-A)	500	410	—	—
増減率(%)	3.3	80.4	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成28年3月期)	14,983	689	448	13.58

3. 差異および修正の理由

(1) 平成29年3月期第2四半期累計期間業績予想と実績値の差異の理由

当第2四半期累計期間の連結業績につきましては、中国国内で自動車用プレス金型鋳物の生産・販売を手がける天津虹岡鋳鋼有限公司が好調に推移したこともあり、売上高、営業利益、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益とも前回発表の予想値を上回る結果となりました。

個別の業績につきましては、売上は当初予想通り推移し、全社をあげてコストダウンの一層の推進に努めたことなどから、経常利益および四半期純利益は当初予想を上回る結果となりました。

(2) 平成29年3月期通期業績予想の修正の理由

通期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間の業績を踏まえ、連結業績は、売上高、営業利益、経常利益が前回発表値を上回る見込みであり、個別業績では、売上高、経常利益が前回発表値を上回る見込みとなりましたので、業績予想を修正いたします。

(注記) 上記の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づいて判断したものであります。

実際の業績は、今後様々な要因により、当該業績予想とは異なる結果となる可能性があります。

以上